

1 教科の到達目標(学習のねらい、身に付けたい力)

- 自然の様々な事物現象などに興味関心や疑問をもち、意欲的に探求する力
- 知識を覚えることだけでなく、自然の様々な事物・現象などを自分の頭で考え、科学的に考察し発表する力
- 目的をもって、観察、実験や調査を行い、基礎操作を習得し、取り組みをレポートにまとめる力
- 自然の様々な事物や現象について理解し、知識を身に付け事物現象を科学的に説明する力

2 年間指導計画(題材)

担当 仲田				
学期	月	題材名・単元名	内容	達成目標(ねらい)
1 学期	4	化学変化とイオン ・水溶液とイオン ・化学変化と電池 ・酸、アルカリとイオン	・電解質と非電解質 ・イオンと原子の成り立ち ・電池の中で起こる変化 ・水溶液の酸性とアルカリ性	【知】化学変化をイオン、電池や酸アルカリに関連づけながら、原子のなり立ちとイオンの概念原理法則などを理解できる。科学的に観察実験する技能を身に付ける。 【思】観察実験から、その結果を分析して解釈し、規則性や関係性を表現できる。科学的に探究できる。 【主】学習に進んでかかわり、科学的に探究しようとしている。
	5			
	6			
2 学期	7	運動とエネルギー ・エネルギーと仕事	・物体の持つエネルギー ・仕事とエネルギー ・エネルギーの保存	【知】日常生活と関連づけ速さと向き、力やエネルギーの概念原理法則を理解する。操作や記録の技能を身に付ける。 【思】見通しをもち観察実験を行い、結果を分析解釈し規則性や関係性を見だし表現できる。科学的に探究できる。 【主】学習に進んでかかわり、科学的に探究する。
	8			
	9			
3 学期	10	地球と私たちの未来のために	運動を記録する 等速直線運動 ・2力のつり合い 力の合成と分解 ・慣性の法則 作用、反作用の法則 ・力と運動の関係	【知】日常生活と関連づけ自然界のつり合いについて基本的な概念原理法則を理解し科学的に観察実験を行い、操作や記録など技能を身に付けている。 【思】身近な自然環境を調べ観察、実験を行い、自然環境保全のあり方について、科学的に考察して判断するなど科学的に探究している。 【主】生物と環境に関する事物現象にかかわり、見通しをもち振り返り、科学的に探究している。
	11			
	12			
	1			
	2			
3				

担当 水谷				
学期	月	題材名・単元名	内容	達成目標(ねらい)
1 学期	4	生物の細胞とふえかた	・生物の成長と細胞の変化	【知】生物の成長とふえ方など事物現象を理解する。観察実験などに関する技能を身に付ける。 【思】見通しをもち解決する方法を立案し観察実験を行う。結果を分析解釈し特徴や規則性を見だし表現する。 【主】事物現象にかかわり科学的に探究する態度と、環境保全の態度を養い総合的に見る。
	5			
	6			
2 学期	7	生物の成長と生殖	・植物と動物の生殖 ・有性生殖と無性生殖	【知】天体に関する概念原理法則などを理解している。観察実験などに関する操作や記録などの技能を身に付ける。 【思】天体の観察実験を行い、結果や資料を分析し太陽系と恒星の特徴や規則性を見だし表現できる。科学的に探究する。 【主】学習に進んでかかわり、科学的に探究する。
	9			
	10			
3 学期	11	地球と宇宙 ・地球の運動と天体の動き ・月と惑星の見え方 ・宇宙の広がり	・天球と方位・時刻 ・地球と自転と天体の動き ・星座の1年の動き ・月の満ち欠け ・日食と月食 ・惑星の見え方 ・銀河系と太陽系の天体	【知】日常生活と関連づけ自然界のつり合いについて基本的な概念原理法則を理解し科学的な、操作や記録など技能を身に付けている。 【思】身近な自然環境を調べ観察実験を行い、自然環境保全のあり方について、科学的に考察して判断できるなど科学的に探究している。 【主】生物と環境に関する事物現象にかかわり、見通しをもち振り返り、科学的に探究している。
	12			
	1			
	2			
	3			

3 評価方法 評価の観点 評価規準

評価の観点	評価規準	評価方法
知識・技能	自然のさまざまな事物現象について理解し、知識を身に付け、事物・現象の科学的な関係を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。	・定期考査・提出物 ・授業プリント・レポート ・小テスト
思考・判断・表現	問題点を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、光の性質の規則性や関係性を見だして表現する。	・定期考査・提出物 ・授業プリント・レポート ・小テスト
主体的に学習に取り組む態度	事物・現象に進んでかかわり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、自然を総合的に見ることができるようになる。	・提出物・授業プリント ・小テスト ・レポート・授業態度など

※理科の学習では「自ら考え調べる」ことを大切にしています。理科の学習では、学習内容に関する知識や理解の様子を評価するのではなく、課題を発見し解決する力、観察や実験の技能、観察や実験結果を発表する力など、定期考査だけではなく、技能テストレポート、授業プリントなどで評価します。

*理科の学習では「自ら考え調べる」ことを大切にしています。理科の学習では、学習内容に関する知識や理解の様子を評価するだけでなく、課題を発見し解決する力、観察や実験の技能、観察や実験結果を発表する力など、定期考査だけでなく、技能テスト、レポート、授業プリントなどで評価されます。

4 授業の取組についてのアドバイス

(1) 毎日の授業について (当たり前なこと)

- ①チャイムがなる前に、授業道具を机の上に用意して、着席する。忘れ物はしない。
- ②板書事項など、ノートをしっかり取る。プリントはノートに貼る。
- ③課題に対しては、自分の頭でしっかり考える。
(考え方はいくつもあっていいものです。「間違えてないかな、」など不安にならないこと)

(2) 観察・実験について

- ①理科室の使い方、実験道具の使い方などルールはしっかり守る。
- ②班や仲間と協力し、積極的に取り組む。
- ③「この実験は何を調べているのか」など、目的をしっかり頭に入れて取り組む。
- ④実験の考察(考えたこと、分かったこと、疑問に思ったこと)を、自分の言葉で文章にする。

不思議に思ったり、疑問をもったりすることはとても素晴らしいことです。探究心をもち続けよう。

5 家庭学習の進め方についてのアドバイス

(1) 予習

予習はやってこなくても、理解できるように授業は進めます。復習を行い、時間のある人は次の授業で行うところの教科書を読んだり、図表や写真を見たりするだけでも勉強になります。

(2) 復習

復習は必ずやってください。授業のあった日、習った範囲の教科書を読む、そしてノートを見直す。覚えなければならない大切な語句を覚える。授業でやった問題をもう一度解く。一度やったことなので、20分もあればできるはずですよ。頑張ってください。分からないところが出た場合は、友達や先生に聞いて、次の授業までに分かるようにしておきましょう。
分からないことはためないこと。分かることをためていきましょう。

(3) 宿題

授業はプリントが中心です。実験後の考察が宿題になります。その日のうちに書きましょう。「私の発見ノート」は科学に関する疑問や不思議をまとめる月一回提出のノートです。授業で学んだ科学的な見方を使いながら、科学的に思考した内容を表現できるようにする練習です。忘れずに提出しましょう。

6 定期考査前の取組についてのアドバイス

- ・授業のあとの復習をしっかり行っていることが、一番大切です。
- ☆その他にやること。
 - ・副教材や授業中に行った問題、朝学習の問題などすべての問題を解けるようにしておくこと。
 - ・学習の課題ごとに、「まとめのノート」を自分でつくる。

7 苦手な人の取組についてのアドバイス

- ・「授業の5ルール」をしっかり守る。授業にしっかり取り組み、提出物は期日までに行うこと。
- ・時間がかかるかもしれませんが、復習をしっかり行うこと。